

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 015	提案機関名 よこすか葉山農業協同組合
要望問題名 秋冬野菜定植の高温対策技術の検証	
要望問題の内容 近年の高温下に伴い、9月定植の秋冬野菜について高温障害が発生しております。定植時に苗の活着を促すため、散水回数を通常の2回から4回に増やすなど、農家も対策を行っておりますが、それでも活着に差が生じて生育がまばらとなる原因となっております。キャベツ等の秋冬野菜の定植後の高温障害や成育のバラつきを防ぐため、高温対策として有効とされている、被覆資材やバイオスティミュラント資材などが、三浦半島での栽培や作型に適合し、導入できるのか不明なので、ご検討をお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) II-2(1)ア(サ) 露地栽培における野菜の高温期の初期成育安定化手法の確立 II-4(2)ア(エ) 早春キャベツ地床育苗の高温対策技術の確立		
対応の内容等	令和6年度から、早春キャベツ育苗時において、被覆資材等の活用による定植苗確保率の向上に向けた使用方法等の検討を実施しており、引き続き、現地導入が可能な資材の選定およびその使用方法について試験を実施します。 また、令和7年度から、夏まき年内どりキャベツにおいて、バイオスティミュラント資材を活用した初期成育の安定化手法について試験をしており、引き続き、現地導入が可能な資材の選定およびその使用方法について試験を実施します。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			